



生徒と創る学びの情景

# 全力を尽くした先に

奈良県・私立天理高校 吉田朋史先生



「生徒が受験勉強に全力を尽くせるように、何よりも声かけと面談を大切にしています」と語る吉田先生。夏季休業中には、3年生の国立大学志望者のグループチャットに、「周りが何と言おうとも自分の可能性を信じ、現実の困難に真正面から勇気を持って挑もう」といったメッセージを毎日送った。帰省していた寮生は、「先生の言葉に励まされて、1人でも集中して勉強することができ、質問にはオンラインで先生に答えてもらったので、帰省したハンデは感じませんでした」と話す。

2学期からは、「模擬試験で重要なのは、できなかった問題を受験後に復習すること」と、繰り返し伝えている。模擬試験の結果が芳しくなく、落ち込む生徒も多い。しかし、現在の学力を理由に第1志望校合格を諦めてほしくない。勉強を続けていれば、合格のチャンスはあるからだ。入試直前まで力を伸ばし、合格を勝ち取った生徒をこれまで何人も見てきた。『『努力の最大値』を引き上げられるのが高校時代です。それはその後の人生の財産になります。生徒がくじけず、努力を続けていけるよう、最適な学習方法を生徒とともに探り、これからも全力で支援していきます」と、吉田先生は力強く語った。

**よしだ・ともふみ** 同校に赴任して25年目。1・3類進路指導部部長。数学科。

**奈良県・私立天理高校** 1908（明治41）年設立／全日制／普通科／共学／1学年約400人／2024年度卒業生進路実績 国公立大は、千葉大、大阪教育大、神戸大、奈良教育大、広島大、大阪公立大、奈良県立医科大などに37人が合格。私立大は、同志社大、立命館大、天理大などに延べ416人が合格。